



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN WEEKLY BULLETIN

NO. 2553 2022-10-21

創 立 1969. 5. 30
幹 事 泉 浩 一

会 長 三宅善太郎
会報委員長 細川 直人



IMAGINE ROTARY イマジン ロータリー
2022-2023 年度 RI 会長 ジェニファーE.ジョーンズ

RI 2660 地区
大阪城南ロータリークラブ
事務局 〒542-0012 大阪市
中央区谷町9丁目1番22号
NK 谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898
FAX(06)6796-9899
<https://osakajonan-rc.org/>
E-mail: johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪
上本町 6-1-55
TEL(06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

本日の例会

10月21日(第3例会)

シェラトン都ホテル大阪 3階 志摩の間

- 卓話「度量」 浅井晃会員
- 業界5分間スピーチ 勝島寿男会員
- 食膳 <中国 御膳料理>

次週のお知らせ

10月28日(第4例会)

シェラトン都ホテル大阪 3階 志摩の間

- 卓話「ベトナム～日本での生活を通して母国を語る～」 米山奨学生 チャン ティ トウ タオさん
- 食膳 <軽食 ワンプレート>

次々週のお知らせ

11月4日(第1例会)

シェラトン都ホテル大阪 3階 志摩の間

- 表彰 ・ホームクラブ連続皆出席
- お祝 ・誕生日 結婚記念日 会社創立記念日 入会記念日
- 卓話「ロータリー財団の歴史と活動」 地区ロータリー財団委員会 委員長 村橋義晃氏
(小林正啓 R 財団・米山奨学委員長担当)
- 理事会 11:30~12:10 シェラトン都ホテル大阪 3階 ホワイエ

先週の記録

10月14日(第2例会)

シェラトン都ホテル大阪 3階 志摩の間

出席報告

出席会員 34名(内免除会員 8名)

会員総数 43名(同上 12名)

ゲスト 1名

ビジター 0名

計 35名

ホームクラブ出席率 87.71%

ゲスト&ビジター(敬称略)

高木大介(卓話者)

9月16日(第3例会)補正出席率 97.50% (MU2名)

会長の時間



皆様お気づきかと思いますが、本日の会報に理事会の議事録を掲載しています。先週の理事会で決定し早速実施しました。今後毎月速やかに掲載致しますのでクラブの方向性を知る上でも必ずご覧くださいませようお願い致します。

今日はスポーツの秋に因んで2点御座います。1つはゴルフです。来月ゴルフ部のコ

<4つのテスト>言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

ンペが奈良国際 GC にて開催されます。メンバーの村上さんはよくご存じなのですが、今年7月ついに乗用カートが導入されました。高齢の方も楽にプレーが出来て大変好評です。好評が過ぎたのか、会員権の相場も随分と値上がりし、平日も盛況らしいです。カートはプレイヤーだけが乗り、キャディは4つのバッグを電動バイクのようなもので運んでくれますので楽ちん&スピーディで誠に快適にプレー出来ます。皆様も是非ご参加頂き新しい奈良国際を体験して下さい。

もう一つは野球で、クラブで野球部を設立したいと考えています。現在、ゴルフと写真の同好会がありますが、多くの会員が参加出来て、クラブが活性化し、会員増強の一つ方法として、且つ個々の健康維持に役立てばと、多くの期待を込めて計画しています。クリアすべき課題が有りますがたくさんの方のご賛同を頂けるようこれから準備してまいります。ご協力宜しくお願い申し上げます。

幹事報告



①10/7 理事会にて、

(ア)10/28 の例会卓話を米山奨学生タオさんにプログラム変更することが承認されました。

(イ)12/16 地区大会晩餐会への会長・幹事の出席が、また 11/18 大阪 RC100 周年記念式典への会長出席が承認されました。

(ウ)現在、大阪城南 RC55 周年記念事業基金として、毎年上期下期に各 9,000 円徴収していますが、22-23 年度下期、23-24 年度上期下期に各 10,000 円追加で徴収することを 12 月の年次総会に提案することといたしました。

②指名委員会を来週 10 月 21 日 11:30 より 3 階ホワイエにて開催することになりました。委員の皆様には本日案内文をポストしておりますので、出席のほどよろしく願いいたします。

委員会報告

・雑誌・広報委員会 野村篤委員長

本日皆様に「ロータリーの友 2022 年 10 月号」の記事紹介をポストさせて頂きました。共に生きる世界への伝言と題して、米山月間&ロータリー学友参加推進週間の特集記事をご紹介します。そして卓話の泉では、大阪城南ロータリークラブ梅崎道夫会員の卓話「相続税の税務調査」が選出されております。皆様是非、ご覧くださいませ。



・写真同好会 浅井晃キャプテン

写真同好会は春と秋の年二回、自然の中で写真を撮る会を開催しています。今回は、11月6日(日)に長居公園内大阪市立長居植物園で『花を撮影する会』を予定致しました。(65歳以上の大阪市内在住者は入場無料です)長居植物園はJR阪和線もしくは大阪メトロ長居駅からすぐの場所にあり、今春、改装されたばかりです。午前10時から、植物園内を散策、写真撮影の後、場所を変えて昼食を囲み、写真談義の花も咲かせようと企画致しました。解散は午後2時頃の予定です。



写真に興味がある方はもちろんですが、お花の好きな方の参加も大いに歓迎致します。

本年度 2660 地区テーマ : 大阪のロータリー 100 周年を祝おう

業界5分間スピーチ（岡会員）

* 次回担当は勝島寿男会員の予定です。

卓 話



「今年度地区国際・社会奉仕委員会の方針と役割について」

地区国際・社会奉仕委員会 委員長 高木大介氏

(元氏成保社会奉仕委員長担当)

【概要】

地区委員会合併の経緯とそれに伴う新たな方針と役割についてのご説明および各クラブ様へのお願いとウクライナ支援について

【卓話要旨】

皆さんこんにちは、今年度、地区国際社会奉仕委員長を務めさせていただいております高木大介と申します。

この度は地区当委員会に卓話のご依頼を賜りまして誠にありがとうございます。また、例会の貴重なお時間をいただき重ねて感謝申し上げます。

地区委員会合併について

さて、まずは今年度地区委員会が合併した経緯についてお話させていただきます。近年のRIの流れを受けまして、組織のスリム化が実現化されたものでございますが、奉仕活動の質の向上や会員の増強を念頭に置いた、中長期的な計画の元、当第2660地区におきまして合併という形になりましたことをまずはご理解いただきたいと思います。

地区委員会合併に期待する効果と奉仕活動の現状

インターネットやSNS媒体により情報のキャッチが瞬時に可能となった昨今では、国内外問わず奉仕活動の幅が広がり、垣根を超えた情報共有がより奉仕の質を高めることにもつながると考えます。コロナ禍においては活動の低下を余儀なくされているクラブも多いかと思いますが、ロータリアンとしてはこうした状況においてこそ、より力を合わせてロータリーの精神をもって行動に繋げていき、本当に援助を必要としているところに手が差し伸べられることを期待いたします。

奉仕活動のこれから

さて、今、ロータリークラブは次のステップに差し掛かっていると考えます。近年の課題であります、会員の増強、および広報活動、これらはこれまでのロータリークラブの在り方とこれからのロータリークラブを考える機会となっていると思います。

さて、本日は地区国際・社会奉仕委員会の考えを個人的な意見も含めて包括的に話しさせていただきますが、基本は各クラブの親睦や活動が最も大切と考えます。何卒皆様のロータリー活動が楽しく充実されたものになるよう祈念いたしまして、私からの卓話のご挨拶とさせていただきます。

ご清聴、誠にありがとうございました。

10月は 地域社会の経済発展月間／米山月間

例会風景



出席報告 遠田会員



業界5分間スピーチ 岡会員



第6回マルチプルポールハリスフェロー 浅井会員

ニコニコ箱

10月14日(第2例会)

- ・三宅会員 10/18に地区の大輪ゴルフ会に山本(智)さんと2人で参加します。クラブの名誉をかけ頑張ります。
- ・泉会員 娘がスイミングスクールの水泳大会のバタ足 25mで1位となりました。金メダル貰って大喜びです。
- ・梅崎会員 ロータリーの友『卓話の泉』に私の原稿が掲載されました。
- ・中本会員 ホテルが混んできたようです。(一杯のお客様がいるという意味です)。
- ・野村会員 梅崎様、卓話の泉への掲載ありがとうございます。
- ・野村会員 西谷様、濱田様、先日はありがとうございました。
- ・元氏会員 高木大介様、本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。
- ・勝島会員 会員の皆様、明日よろしく願いいたします。
- ・宮田会員 勝島さんありがとうございました。先様もとても美味しいと喜んでおられました。

他、お祝い2件

ロータリー情報

1910年代に入り、クラブとして対外的な奉仕活動もっと実践すべきという考えが大きくなりました。創立の理念を守るべきという理念派と実践派の対立が深まりロータリーは分裂の危機に瀕します。国際ロータリーは両者を調和すべく1923年のセントルイスでの国際大会でこの有名な決議を採択します。これにより論争に終止符が打たれ、両派の対立は解消したのです。以来今日に至るまでロータリーの基礎となっています。

決議23-34より、ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務及びこれに伴う他人の為に奉仕したいという感情との間に常に存在する矛盾を和らげようとするものである。この哲学は奉仕「超我の奉仕」の哲学であり、「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」という実践理論の原則に基づくものである。

(編集担当 恒元・浅井)

ロータリーの金言「入りて学び、出でて奉仕せよ」